

2024年5月28日

報道関係 各位

静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号
静岡鉄道株式会社

静鉄グループ 2024年3月期 連結決算概況について

前期比で増収増益、当期純利益が過去最高となる

◇連結決算概況

当連結会計年度においては、自動車販売事業におけるメーカーからの車両供給一部正常化による新車販売台数の増加や、段階的な人流回復により交通事業・ビジネスホテル事業・観光売店事業で利用者数が回復基調であること、また昨年放送された大河ドラマの影響やインバウンド効果により索道事業が好調であったことなどから、当会計年度における売上高は増加し、1,701億12百万円（前期比10.0%増加）となりました。

利益面では、各事業売上高の増加に伴う粗利益の増加などにより営業利益は36億88百万円（前期比91.7%増加）、経常利益は33億1百万円（前期比102.2%増加）となりました。

なお、当期純利益におきましては、当社グループ25社全社の当期純利益が黒字となったことなどにより、連結会計制度が適用された1977年度以降で過去最高益の31億51百万円（前期比274.7%増加）となりました。

◇2025年3月期の業績予測

2025年3月期の業績予測につきましては、不動産販売事業における事業用不動産の売却や、ビジネスホテル事業におけるプレジオ大阪心斎橋の通年営業による増収のほか、乗合バス事業においては2024年10月より運賃改定を計画していることなどから、売上高は1,709億71百万円（前期比0.5%増加）を見込んでおります。

利益面では、社員一人ひとりのウェルビーイング向上を目指した処遇改善や、各設備投資による減価償却費の増加、電気料単価の上昇等による水道光熱費の増加等を考慮した見通しとなります。

その結果、営業利益は20億円（前期比45.8%減少）、経常利益は12億63百万円（前期比61.7%減少）、当期純利益は15億7百万円（前期比52.2%減少）を見込んでおります。

当社グループは、今後もお客様に安全・安心・快適をお届けする為の取り組みを推進するとともに、生活ニーズの多様化に応える事業活動を実施してまいります。

<添付資料>

- ・静鉄グループ 2024年3月期 事業セグメント別概況
- ・静鉄グループ 2024年3月期 連結決算指標

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします

経営管理部

グループ事業課：古川（ふるかわ）、花崎（はなざき）
直通電話：（054）254-5116
FAX：（054）273-0658
Eメール：group@shizutetsu.co.jp

総務部

総務課：國松（くにまつ）
直通電話：（054）254-5129
FAX：（054）255-8816
Eメール：m.kunimatsu@shizutetsu.co.jp

静鉄グループ 2024 年 3 月期 事業セグメント別概況

当社グループは、交通事業、流通事業、自動車販売事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、建設事業の6つの事業セグメントで構成されています。事業セグメント別の概況は次のとおりです。

・交通事業

鉄道事業におきましては、輸送の安全確保と利便性・快適性の向上のために2023年4月に旅客運賃改定を行いました。また、新型コロナウイルスの5類移行に伴う段階的な人流回復等により、輸送人員は前期比4.7%増加いたしました。2024年2月には、2016年から順次納入していたA3000形車両導入計画が完了いたしました。そのほか、鉄道有責無事故60年10ヶ月を達成したことにより、国土交通省中部運輸局から「鉄道無事故表彰」を受賞しました。

索道事業におきましては、大河ドラマ放送の影響等により輸送人員が前期比52.0%増加し、1957年に営業を開始して以来、年間で過去最高を更新する輸送人員となりました。また、2023年4月からは、県内で初めて静岡県産CO2排出量ゼロの電気100%となる運行を開始いたしました。

乗合バス事業のしずてつジャストラインでは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、2023年11月に静岡県初となる水素を燃料とした燃料電池バスを2台導入いたしました。また、輸送人員は前期比6.4%増加いたしました。

タクシー事業の静鉄タクシーでは、2023年11月から2ヶ月間、公民連携の共創プラットフォームによるAIオンデマンド交通「ふじえだmobi」の実証運行を行いました。また、採用強化による運転士数の増加等により、営業回数は前期比3.0%増加いたしました。

以上の結果、交通事業の営業収益は、141億45百万円（前期比9.4%増加）となりました。

・流通事業

スーパーマーケット事業の静鉄ストアでは、2023年10月より、配送効率を向上させるための新たな物流拠点である「藤枝統合センター」の運用を開始いたしました。また、同月に全体で34店舗目となる小型店舗「KITE-GO南町店」を開業いたしました。さらに、2024年1月より台湾に現地事務所を設立し、台湾ECサイトでの販売を開始したことなど、顧客の購買スタイルの変化に対応した、新たな販路の拡大に取り組みました。販促強化や一品単価の増加により、既存店舗の売上高は前期比2.7%増加いたしました。

食堂売店事業の静鉄リテイリングでは、神奈川県「箱根関所旅物語館」ほか2施設や「シャトレーゼ牧之原榛原店」の運営を新たに開始いたしました。人流の回復や新店の増加等により、観光売店の売上高は前期比21.4%増加いたしました。

以上の結果、流通事業の営業収益は、473億50百万円（前期比5.1%増加）となりました。

・自動車販売事業

自動車販売事業のトヨタユナイテッド静岡では、メーカーからの車両供給一部正常化により、新車販売台数が前期比 5.8%増加いたしました。中古車販売台数については、前期比 20.3%増加いたしました。また、2023 年 7 月に従来の自動車販売事業の枠を超えたアウトドア事業として、富士宮市朝霧にオートキャンプ場「朝霧 CampBase そらいろ」をグランドオープンいたしました。さらに、2023 年 9 月には最新の省エネ設備や災害対策機能を備えた、最大規模の旗艦店となる「草薙店」をグランドオープンいたしました。

自動車リース事業のトヨタレンタリース静岡では、レンタカー事業において、人流の回復により前期に比べて稼働台数は前期比 3.9%増加し、営業収益が過去最高となりました。

以上の結果、自動車販売事業の営業収益は、843 億 3 百万円（前期比 16.2%増加）となりました。

・不動産事業

不動産事業共通で、静鉄不動産 60 周年を記念した不動産売却・購入・リフォームなどの各種キャンペーンを実施いたしました。不動産賃貸事業では、2024 年 3 月に音羽町駅に直結した既存建物を一部リノベーションした商業施設を開業したほか、狐ヶ崎ショッピングセンターの一部リニューアル工事が完了いたしました。

不動産販売事業では、「エバースクエア馬淵三丁目」のほか、7 物件が好評のうち完売したほか、横浜市戸塚区分譲マンション共同事業「ガーデングランデ横浜戸塚」の第一期販売を開始いたしました。

ショッピングセンター事業の静鉄プロパティマネジメントでは、新静岡セノバにおいて、「トライ！はたらく時間 PROJECT」をはじめとした働き方改革等が認められ、2023 年 4 月に一般社団法人日本ショッピングセンター協会より第 9 回日本 SC 大賞・金賞を受賞したほか、2023 年 9 月から 2024 年初夏にかけて、大規模リニューアルを実施しています。また、館内売上については、前期比 4.2%増加いたしました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、113 億 17 百万円（前期比 9.2%減少）となりました。

・レジャー・サービス事業

ビジネスホテル事業では、2023 年 10 月に 8 施設目となり、大阪府内初進出である「静鉄ホテルプレジオ大阪心斎橋」を開業いたしました。また、前期に比べて施設合計での客室稼働率が上昇し、年間の平均客室稼働率は 82.7%（前期比 5.7pt 増加）となったほか、客室平均単価が増加したことにより、営業収益は過去最高となりました。

また、カード事業では、2023 年 10 月に当社グループのハウスカード「LuLuCa」と連携し、便利な機能やお得な情報が提供される「LuLuCa アプリ」をリリースいたしました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は、111 億 31 百万円（前期比 8.9%増加）となりました。

・建設事業

建設事業の静鉄建設では、古庄駅バリアフリー化に伴う駅施設・駐輪場工事や、トヨタユナイテッド静岡草薙店計画新築工事などを施工いたしました。

以上の結果、建設事業の営業収益は、72 億 47 百万円（前期比 3.4%増加）となりました。

2024年3月期 連結決算指標

◆連結決算概要

	2023年度	2022年度	前期比		2024年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	170,112	154,593	15,518	10.0	170,971	859	0.5
営業利益	3,688	1,924	1,764	91.7	2,000	△ 1,687	△ 45.8
経常利益	3,301	1,632	1,668	102.2	1,263	△ 2,037	△ 61.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,151	840	2,310	274.7	1,507	△ 1,643	△ 52.2

(単位:百万円、%)

◆セグメント別営業収益

	2023年度	2022年度	前期比		2024年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業収益	170,112	154,593	15,518	10.0	170,971	859	0.5
交通事業	14,145	12,931	1,213	9.4	14,834	689	4.9
流通事業	47,350	45,049	2,300	5.1	46,203	△ 1,146	△ 2.4
自動車販売事業	84,303	72,576	11,727	16.2	80,808	△ 3,495	△ 4.1
不動産事業	11,317	12,465	△ 1,147	△ 9.2	14,693	3,375	29.8
レジャー・サービス事業	11,131	10,225	905	8.9	11,164	33	0.3
建設事業	7,247	7,007	239	3.4	8,400	1,153	15.9
内部消去	△ 5,384	△ 5,663	279	-	△ 5,135	248	-

(単位:百万円、%)

◆セグメント別営業利益

	2023年度	2022年度	前期比		2024年度 業績予測	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
営業利益	3,688	1,924	1,764	91.7	2,000	△ 1,687	△ 45.8
交通事業	△ 711	△ 1,347	635	-	△ 1,107	△ 395	-
流通事業	528	438	89	20.5	368	△ 160	△ 30.3
自動車販売事業	2,812	1,983	828	41.8	1,966	△ 845	△ 30.1
不動産事業	679	908	△ 228	△ 25.1	704	24	3.6
レジャー・サービス事業	183	△ 356	539	-	27	△ 155	△ 85.2
建設事業	280	347	△ 67	△ 19.4	182	△ 98	△ 35.1
内部消去	△ 83	△ 49	△ 34	-	△ 139	△ 55	-

(単位:百万円、%)

※金額は百万円未満を切り捨て表示